

行政 トピックス

皆さんの温かい支援に感謝
みんなで支える復興への道

—東日本大震災への支援活動—

3月11日に東北地方太平洋沖で発生した巨大地震の被害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。



▲岩手県に向け給水車で出発する派遣職員



▲避難所の陸前高田市立米崎小学校の受水槽に給水

市では、被災地の支援のために本庁、各支所に募金箱を設置し、義援金を受け付けています。皆さんからの温かい気持ちのこもった義援金は、毎月集計し、日本赤十字社を通じて被災地の皆さんにお届けしています。(4月25日現在・3,947,541円)

また、被災地からの要望にそった支援物資の受け付けを本庁・各支所で2回に分けて行いました。今後、京都府と連携の上、皆さんに支援物資の提供をお願いすることがあります。なお、提供いただく物資の種類・受付期間など、詳細はその都度変更になります。情報は市ホームページ、CATV、お知らせなんたんなどでお知らせしますので、皆さんのご支援

◇提供いただいた支援物資

第1回 (3月28日～31日)	缶詰	327 缶
	簡易スープ、味噌汁など	1,937 個
	栄養調整食品	68 個
	缶ジュース	579 本
第2回 (4月4日～7日)	カップラーメン	249 食
	レトルト食品	30 食
	魚肉ソーセージ	120 本
	漬け物	920 パック
	味付け海苔	385 パック
	佃煮などの瓶詰め	45 瓶

をお願いします。人的支援としては、日本水道協会と連携の上、岩手県内での給水活動に職員を継続して派遣しているほか、福島県内に保健師を派遣しています。

市としては、職員の派遣や物資の提供など、被災地支援を全力で行いますので、市民の皆さんのご支援ご協力をお願いします。

消防団の崇高な使命を継承

—南丹市消防団入退団式・南丹船井支部教育訓練—



▲筒先の構え方を教わる団員

4月1日、平成23年度南丹市消防団入退団式を南丹市国際交流会館で開催。永年にわたり地域防災の要として活躍いただいた41人の方々が退団され、新たに54人の方々が入団されました。

新入団員は、4月17日に京丹波町和知グラウンドで行われた京都府消防協会南丹船井支部教育訓練に参加。消防職員の指導の下、集合整列要領や器具の取扱要領など、消防団員としての基本動作の習得に向け、訓練に励みました。